



出町ゆかりだより

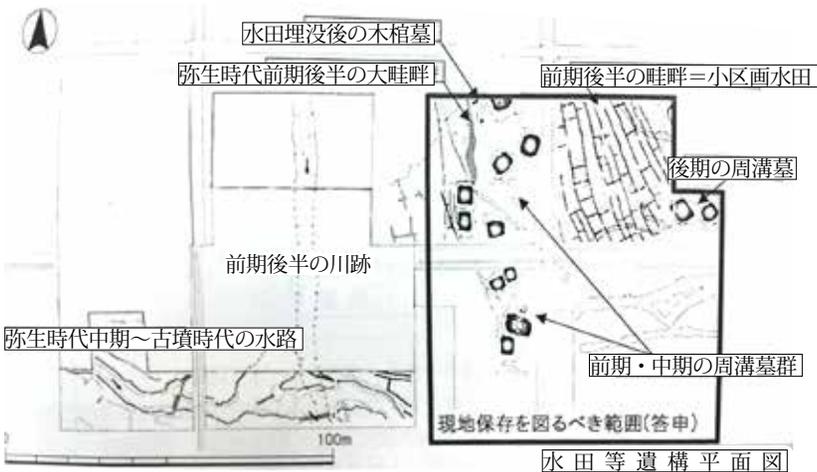
日本共産党
高槻市議員

発行：日本共産党高槻市議員団 出町ゆかり
連絡先：議員団控室 TEL072-674-7230 FAX072-674-3202

NO.55 2015年9月



弥生時代前期の水田など全景



発掘された遺跡の平面図

安満遺跡で水田が見つかる

防災のため安満遺跡公園内に雨水貯留施設の建設に向けて、昨年9月から発掘調査が行われていました。今回、弥生時代前期(約2500年前)の水田跡や墓などが見つかりました。

これまで、住居跡や木棺墓は見つかっていましたが、水田跡が見つかるのは初めてです。約9千平方メートルの広さであぜに区切られ、57枚の水田跡です。

全国的にも貴重な遺跡

弥生時代前期の住居、水田、墓がそろっているのは、全国的にも例がないと言われています。日本の

稲作など当時の様子を具体的に知ることができます。高槻市には他にも

また、洪水の被害があったらしいこと、それを見つけた人の足跡も見つかっています。

古墳や埴輪などの発掘もされています。全国から高槻市の歴史について見に来てもらえうような取り組みも考えていければいいと思います。



9月議会日程

- 9月7日(月) 本会議／提案理由説明
- 9日(水) 本会議／質疑
- 11日(金) 文教市民委員会
福祉企業委員会
- 14日(月) 都市環境委員会
総務消防委員会
- 28日(月) 本会議／採決、
一般質問
- 29日(火) 本会議／一般質問

ぜひ傍聴をお願いします
※いずれも午前10時開会です。

市バス敬老パスのアンケート調査、案が出される。—10月ごろ実施—

7月22日の高齢者福祉専門部会で市バス高齢者無料乗車証制度のアンケート調査の案が示されました。

利用実態や効果を把握し、今後の施策展開の基礎資料とさせていただきます。

対象者は市内在住の70歳以上の方で2割にあたる約1万4,000人を無作為で選びます。内容は住んでいる地域、要介護度、収入状況や、健康面、市バスの利用状況など20項目と意見を書く欄が設けられています。

結果は市民のみなさんに公表されます。

「議会だより編集委員会」視察

8月3日(月) 8月4日(火)「議会だより編集委員会」で行政視察に行ってきました。3日は埼玉県所沢市、4日は神奈川県海老名市です。

2市ともSNSを活用しており、議会のネット中継やフェイスブックを活用しています。

また、高槻市の議会だよりでは一般質問は選択で掲載していますが、2市とも全員の発言を議員の名前入りで掲載しています。海老名市では名前とそれぞれの議員の写真も一緒に掲載しています。また、2市とも議会報告会を開催するなど、「できるだけ市民のみなさんに議会のことを知ってほしい」と思っている「議会だよりだから、写真も議会のことを載せるようにしている」など工夫をされています。

高槻市でも9月議会から試験的に議会の録画中継が行われます。

市民の皆さんにもっと身近に議会を感じていただけるよう、議員の活動が見えるような工夫が必要だと思いました。

がん検診が500円から無料に

今年9月から医療機関での支払いが無料に、4月からの分については、申請(9月25日から11月30日)すれば、返還されます。

無料になるがん検診

	対象年齢	検査内容
肺がん	35才以上	X線検査
胃がん	35才以上	X線検査
大腸がん	40才以上	便潜血検査
子宮がん	20才以上	視診、内診、細胞診
乳がん	30才以上の女性	視触診、マンモグラフィ、X線など
前立腺がん	50才以上の男性	血液検査

(乳がんは前年度未受信の人。また、年齢によって検査が異なります。)
(前立腺は過去に前立腺がんと診断された人、要精検の人は対象外)

地方分権推進委員会が開かれる

8月18日、「地方分権推進委員会」が開かれました。大阪府は「府でなくては担えない事務を除く、全ての事務を市町村に移譲する」としてそれぞれの自治体に事務の権限移譲を進めています。

すでに高槻市は平成22年度から24年度までの3年間で23事務の移譲を受けています。今回、幼稚園型認定こども園の認可・認定の事務の移譲を受ける説明がありました。

幼稚園型認定こども園というのは幼稚園の中に保育所があります。その保育所は無許可です。また、保育所を利用する子どもたちは朝早くから、夕方まで長時間です。幼稚園を利用する子どもたちとは利用時間も違います。

保育所と幼稚園とは役割も保護者の考え方も違います。本来にこういうやり方が子どもたちにとっていいのでしょうか。利用している子どもたちにとって一番いい方法を望みます。

大阪府の権限移譲はさまざまな問題があります。数年に一回しかない僅少な事務などは市町村が受けるより、広域的にしたほうが合理的で、効果的です。また、受け皿となる体制を市町村で準備することが困難な場合もあります。

広域行政がきちんとできている中でこそ、小さな自治体も「個性を生かした自立した地方をつくる」ことが実現できるのではないのでしょうか。広域でなければいけない事務まで市町村に押し付けるやり方には反対で

す。

